

インフォメーションギャップを取り入れた英会話の授業

What time do you go to school?の授業。

TOSS 西風 岡本真砂夫

この授業は英会話の授業に 35 時間以上取り組んでいるものとする。インフォメーションギャップ (Information gap) ゲームを取り入れた授業である。

インフォメーションギャップとは、本人の知らない情報を他の人が知っている状況のことである。例えば、「買い物に行く時間」を自分は知らないが、友達を知っているとする。「買い物に行く時間は何時ですか」と友達と会話をする必然性ができる。インフォメーションギャップゲームとは、「会話をする必然性」を取り入れたゲームである。

児童の活動	教師の補助
1. 単語練習 go to school, go shopping, go to the park go to the police,	フラッシュカードコンテンツを活用し、練習させる。
2. do you go to school?の対話文練習	マペットを活用し、対話文を使う状況を再現する。対話文を反復練習させる。
3. What time?の練習	ぐるぐる時計コンテンツを活用する。
4. What time do you go to school?の練習	フラッシュカードコンテンツを活用し、対話文を何度も反復させる。
5. インフォメーションギャップゲーム	スモールステップでルールを説明する。
6. 全員と一対一で対話する活動	What time did you slept last night. と、昨夜就寝した時刻について、一人ずつと対話する。
7. 人数を反復練習する。	就寝した時間帯を反復練習させ、単数形・複数形の違いなどを練習させる。